

## KVC - 容量調整弁

KVCは、コンプレッサの容量を実際の蒸発器の負荷に適合させるための容量調整弁です。  
冷凍冷蔵装置の高圧側 - 低圧側間のバイパスに設置された KVC は、高圧側から低圧側にホットガスまたはクールガスを疑似負荷

として供給することにより、コンプレッサの吸入圧力下限値を確保します。

KVCは、HCFC、HFC、HC 冷媒用です。

### 特長 KVC



ハーメチックろう付構造

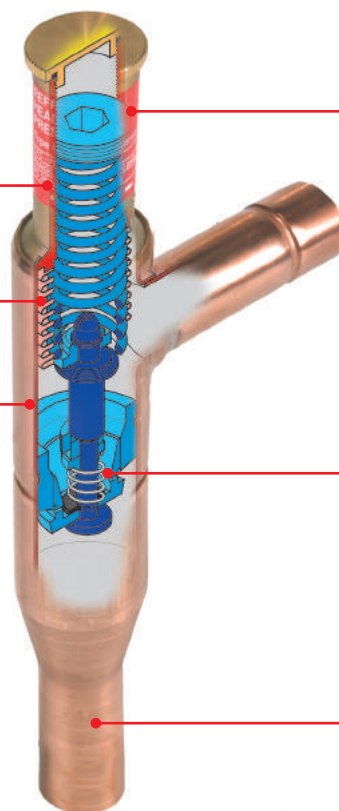
ステンレス製ベローズ

コンパクトなアングル設計で  
どの位置でも簡単に取付可能

六角棒スパナで  
設定圧力を正確に調節

脈動減衰設計

フレアおよびろう付接続  
を用意しています。



## 概要

用途:

- ・ 冷凍冷蔵
- ・ 空調装置
- ・ 輸送用冷凍冷蔵
- ・ ショーケース用冷凍冷蔵
- ・ エアドライヤ

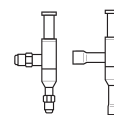
- ・ KVC の調整は、出口圧力のみに依存します。KVC には均圧ベローズが使用されているため、入口側の圧力変動は、開度に影響しません。
- ・ KVC には、通常冷蔵装置で発生する脈動に対する効果的な減衰装置も搭載されています。
- ・ コンパクトなアングル設計で取付が簡単

- ・ 広い能力と作動範囲
- ・ 調整範囲: 0.2 – 6 bar / 3 – 87 psig
- ・ 最高使用圧力:  
PS / MWP = 28 bar / 406 psig
- ・ 適合冷媒: HFC
- ・ 冷媒温度: -45 – 130 °C / -49 – 266 °F

## テクニカルデータとコード番号

### KVC - 容量調整弁

#### コード番号



形式	定格容量[kW] / [TR] <sup>4)</sup>								接続タイプ	接続寸法		コード番号
	R22		R134a		R404A / R507		R407C			[in]	[mm]	
	[kW]	[TR]	[kW]	[TR]	[kW]	[TR]	[kW]	[TR]				
KVC 12 <sup>3)</sup>	7.6	2.14	4.8	1.36	6.9	2.02	8.4	2.31	フレア <sup>2)</sup> <sup>3)</sup>	½	12	034L0141
	7.6	2.14	4.8	1.36	6.9	2.02	8.4	2.31	ろう付 ODF <sup>3)</sup>	½	—	034L0143
KVC 15 <sup>3)</sup>	14.9	4.17	9.4	2.65	13.6	3.93	16.4	4.50	フレア <sup>2)</sup> <sup>3)</sup>	¾	16	034L0142
	14.9	4.17	9.4	2.65	13.6	3.93	16.4	4.50	ろう付 ODF <sup>3)</sup>	¾	16	034L0147
KVC 22 <sup>3)</sup>	19.1	5.35	12.0	3.41	17.4	5.04	21.0	5.78	ろう付 ODF <sup>3)</sup>	1	22	034L0144

<sup>1)</sup> フレアナットは同梱されていません。フレアナットは別売です：½ in / 12 mm - コード番号 011L1103、¾ in / 16 mm - コード番号 011L1167。

<sup>2)</sup> 弁の接続口におけるガス流速が 40 m/s を超えると騒音がします。弁の接続口径は小さすぎるものを選択しないでください。

<sup>3)</sup> 吐出温度が、コンプレッサ仕様に対して高すぎる場合、液ライン-コンプレッサの吸入ライン間のバイパスにインジェクション弁を設置することを推奨します。

<sup>4)</sup> 定格容量は、以下の条件での容量です：

- 蒸発温度  $t_e = -10\text{ }^{\circ}\text{C} / 14\text{ }^{\circ}\text{F}$
- 凝縮温度  $t_c = 25\text{ }^{\circ}\text{C} / 77\text{ }^{\circ}\text{F}$

### 応用例

